

東京都済生会中央病院を受診された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

東京都済生会中央病院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の【問い合わせ先】へご連絡ください。

【研究課題名】

外来化学療法室におけるがん患者のオンコロジックエマージェンシー～治療当日のキャンセル理由についての実態調査～

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京都済生会中央病院
研究責任者 三浦美和子
研究機関の長 院長 海老原全

【研究意義】

化学療法は、がんの治療について重要な選択の一つですが、副作用などもあり患者さんの状態によっては中止を検討しなければなりません。治療キャンセル理由について知ることは、医療者と患者さんとの話し合う際に重要であると考えます。

【研究目的】

外来化学療法室に通院する患者が、がんの進行またはがんの治療によって起こり得るための異常の早期発見と、QOL への影響を医療者と話し合う意思決定支援の資料とすることを目的としています。

【研究の方法】

この研究の対象者は、2025 年 4 月から 2025 年 8 月までに化学療法予定であったが、なんらかの理由で当日に治療を中止したがん患者さんについてです。

この研究は東京都済生会中央病院、臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。特に新たにご負担いただくものありません。

利用するカルテ情報は以下のとおりです。

「年齢」「性別」「原発部位」「治療内容」「日常的な活動能力:PS 分類」「stage 分類」「化学療法の種類」「治療中止理由」「有害事象の重症度評価」

〔研究の実施期間〕

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日まで

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関わって収集され試料や情報・データ等は外部に漏洩することがないように慎重に取り扱う必要があります。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は〔問い合わせ先〕にご連絡ください。その場合も診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。なおあなたへの謝金はありません。

〔問い合わせ先〕

東京都港区三田 1-4-17

東京都済生会中央病院

看護部

担当：三浦美和子

電話 03-3451-8211